

10月11日：貿易戦争の懸念は後退するも、市場の反応は乏しい

米中の貿易協議に対する懸念は後退し、投資家は第3四半期決算と今年残り3か月余りの市場の動向に目を向けている。国内市場についてはこれらのイベントは織り込まれ、海外投資家は国際問題に慎重になっており、今後数週間で市場が明確な反応を見せることは期待できないと思われる。

ホーチミン市場のVN指数は先週、0.43%上昇の991.84ポイントで引けた。

ハノイ市場のHNX指数は、前週の105.16ポイントとほぼ変わらず105.26ポイントで引けた。

投資家はワシントンで金曜日（現地）に閉会した米中貿易協議の声明を待っていたことで、両指数とも市場の警戒感が重荷となった。両国とも貿易戦争の休戦につながる部分的な枠組みに合意したが、アナリストや市場関係者は合意の見通しについて懐疑的な姿勢を崩していない。

ただ米中の好意的な姿勢は市場のセンチメントを緩和し、世界経済の減速の可能性についての懸念を和らげたと言えるだろう。

「両国とも最大の緊張状態を脱した。合意に向けた協議の席に着くことを望んでいるのは明白だ。」VNダイレクト証券取締役のグエン・チュン・デュー氏は語った。

米中貿易戦争の進展は、ベトナム市場にもいくつかの影響を与えるのは明白であると、サイゴンハノイ証券市場分析部取締役のゴ・チェ・ヒエン氏は述べた。

「交渉が成立すれば国内・海外市場とも上昇するだろう。成立しなければ、緊張状態が高まらない限り市場に災いをもたらすものでもない。」ヒエン氏は述べた。

ここ数か月で、ベトナム株式市場は米中貿易戦争の動向にさほど影響されなくなり、VN指数は980-1,000ポイントで停滞している。

海外投資家は売り越しに回り、国債や金などの安全資産に逃避している。よって2017年後半から2018年前半に見られた大きな資金流入を望むことは難しいと、VNダイレクトのデュー氏は述べた。

先週の外国人の売りは2,650億ドン（1,140万ドル）に達した。週間ベースでは75%減少したものの、外国人投資家の慎重姿勢を示している。

投資家は、銀行、消費材、小売、ITなど、決算動向がハイライトされているいくつかの銘柄に注目していると、同氏は述べた。

「しかしこれら銘柄の材料は株価におり込まれ、ニュースが出ても大きなインパクトはもたらさないだろう」とデュー氏は述べた。

投資家は第4四半期と通年の決算に目を向けているが、9か月の決算が良好だった銘柄は、第4四半期も成長するだろうと、同氏は加えた。

銀行、小売、ITセクターはここ数週間で勢いがあつた。VN指数は、投資家が第3四半期決算に注目し始めた9月11日から3.12%上昇した。

この間、VCBは10.5%、FPTは7.4%、VNMは6.6%上昇した。

VN指数にとって1,000ポイントは心理的な節目となると、デュー氏は述べた。

ベトナム証券のシニアアナリストであるグエン・ホアン・ビエット氏は、「投資家はベトナム市場の底堅さについて懐疑的なので、VN指数の短期的見通しに変わりはない。」と述べた。

悪いシナリオとして、VN指数は1,000ポイントの節目を突破できない場合、975ポイント近辺で定着すると予測している。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。